

二つの視点

中川氏の視点

- ・図書館のサービスが使い難かっただけ
- ・常識的なデータベース接続回数

→故意的ではない

図書館側の視点

- ・他の人に迷惑がかかっているから通報しただけ
- ・プログラムは完全に外注

→システムの一使用者

犯罪なのか？

- ・ 中川氏はDos攻撃をしたわけではないと取り調べでも言っている。
- ・ システム障害が起こってから、自分のプログラムの変更を行った。

参考 日本図書館研究会研究例会（第277回）報告

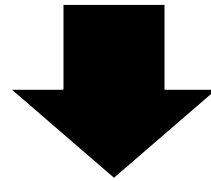
〈<http://www.nal-lib.jp/events/reikai/2010/277report.html>〉

教訓

図書館側は初動に気をつけるべきだった

→すぐ警察に通報するのではなく、アクセス元に連絡すべき

→それでもダメなとき、次はシステム設計者に連絡すべき



システム管理者は情報リテラシーを持つべき